

科目名	長期インターンシップ (生物資源工学コース)		英文表記	Long Term Internship	2015/3/9	
科目コード	6021be		教員名: 平山 けい			作成
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数
創造システム工学専攻・生物資源工学コース			専1	選	学修	4単位
授業形態			授業期間			
実習			集中講義			
科目目標	<p>①座学や実験で学んだ知識が企業活動にどう関わっているのかを長期にわたる就業体験を通して理解し、さらに自身の能力の現状を把握して仕事への適正・自身のキャリアデザインを明確化し、多面的な基準から企業との適性を評価できる。</p> <p>②より現実の企業活動に即した実務を体験し、技術者・研究者としてより明確なキャリアイメージを持つことが出来た、それを高めようとする姿勢をとることができる。</p> <p>③企業または、研究者が持つべき仕事への責任を理解できる。</p>					
総合評価	<p>日報: 研修先の評価(40%)、およびインターンシップ報告書及び報告会の発表内容(60%)で評価する。60%以上を合格とする。</p> <p>履修に必要な書類: 長期インターンシップインターンシップ履修届けと受け入れ先企業等の日程表(この提出をもって履修許可とする)。</p>					
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)		達成度目標の評価方法		ルーブリック	
					理想的な到達レベル	標準的な到達レベル
					最低限必要な到達レベル	セルフチェック
①	長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる(B-1, B-3)	研修(日報による評価)および研修先の評価、およびインターンシップ報告の内容で評価する。	自身の将来にわたるキャリアデザインを明確にし、多面的な基準から企業との適性を評価できる。	自身の将来にわたるキャリアデザインを明確にし、企業との適性を判断できる。	自身の将来にわたるキャリアデザインを明確にできる。	
②	高専で学んできたこと得た知識等と実務を関連付けて考えることができる(A-1, A-3, B-2, B-3, C-1, C-2)	研修(日報による評価)および研修先の評価、およびインターンシップ報告の内容で評価する。	生物工学の専門技術と現場での応用とを比べ自身の能力の度合いを知ることができる、また将来に結び付けて考えていくことができる。	生物工学の専門技術と現場での応用とを比べ自身の能力の度合いを知ることができる。	生物工学専門技術と現場での応用とを比べることができる。	
③	就業経験および共同研究・受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる。(A-1, A-3, B-2, B-3, C-1, C-2)	研修(日報による評価)および研修先の評価の他インターンシップ報告者と報告会の内容で評価する。	生物工学の専門技術が応用されている現場での事象を自らの将来に結び付けて考え応用していくことができる。	生物工学の専門技術が利用されている現場での事象を自らの将来に結び付けて考え利用していくことができる。	生物工学の専門技術が利用されている現場での事象を自らの将来に結び付けて考えていくことができる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	生物資源工学
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-1, A-3, B-2, B-3, C-1, C-2

評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合

	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート(日報と研修先の評価)	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目				40	60	100	
基礎的理解				10	15	25	
応用力(実践・専門・融合)				10	15	25	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)				10	15	25	
主体的・継続的学修意欲				10	15	25	

授業概要、方針、履修上の注意	<p>【概要】 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会に必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。 ①履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 ②実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 ③長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 ④学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 ⑤習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会に必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。</p>
	<p>教科書・教材</p> <p>教員作成資料、企業作成資料</p>

授 業 計 画

週 (単位時間)	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフチェック
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス		
2~9	インターンシップ先企業研究 インターンシップ	9	企業研究、大学受け入れ先検討	企業・大学の調査 研修研究内容の自己研究	
10~80		70	約4週間の企業研修・大学での研究 ①企業における多様性を理解し、自らの進路としてキャリアデザインを構築することができる ②企業における社会的責任を理解できる ③企業活動が国内外の他社との関係性を理解できる		
81~90	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書の作成・報告会資料作成・報告	資料作成・プレゼンテーション	

学習時間合計

90

実時間

67.5

自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)

標準的所用時間(試行)

①	研修先での事前・事後調査	各1時間×30回
②	研修後のレポート作成・報告会の準備等。	各3時間×10回
③	実質のインターンシップ時間は受け入れ先により60~80と異なるため期間に合わせた自学自習時間が必要	

備考欄

- ・この科目はJABEE対応科目である。
- ・関連科目:◎インターンシップ(4年)、卒業研究(5年)、特別研究(専攻科1・2年)

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)